

主な質問と答弁の要旨

林 俊宏 議員

議会としての総意について



杉原千畝氏銅像（人道の丘公園）

町民の皆様には今までご理解とご協力をいただき、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。平成27年世界記憶遺産登録に向けて、国、県、八百津町が一つになって、手と手を取り合い一生懸命頑張ってきました。町長をはじめ担当職員、一生懸命やっていたいただきましたが残念なことに結果的には我々が思うところまでいき着きませんでした。しかし、非常に大きなものを得ました。それは人と人とのつながりです。そういう意味において、人

下水の水質検査、ボーリング調査等を進められたと思うが、総合的にこの大きな工事の内容等について伺いたい。

（藤掛建設課長）

道教育をはじめとした子供たちのこれからの育成、交流を含めて、大きな財産を得たと思えます。

今後とも町民の皆様のご理解とご協力を賜り、議会としても行政と一緒にあって、取り組んでまいりたいと思えます。ありがとうございます。

Q1 八百津排水路について

工事の内容等について

八百津排水路計画が始まり、約6、7年になると思う。少しでも最善な方向で進めるために今まで地形の調査、地



工事が計画されている国道418号

そこで、大船神社の北から大仙寺までの町道に大型の排水路を設け、大仙寺山に降った雨を集め、大仙寺から下流は道路の地下に排水管を設け、大仙寺から旧中央公民館東の町道を通り、役場の東側を通って木曾川へ排水する構想を立てました。

しかし、役場周辺は地下水が豊富で井戸水を使っている家や企業があります。そのため、地下水の水位や水質調査、地質のボーリング調査など詳細に行いました。その結果、排水管を役場東側の町道に通し、木曾川まで埋設することは地下水の水位や水質に影響がないとは言えないという結論に達しました。

排水管は道路の地下に埋設するため、道路の接続状況や道路幅員、地形や土質の状況、地下

水の状況ルートの長さなどを総合的に検討し、あらゆる方向のルートを検討した結果、旧中央公民館から西へ行くルート、つまり旧中央公民館から荒川橋までの国道418号に排水管を敷設するのが最もよいルートであると判断しました。

しかし、実際に工事を行う国道418号は、交通量の多い幹線道路で、道路沿線には商店や住宅が建ち並んでいます。工事の交通規制などで沿線の皆様や通行される方、特に商店のお客様の出入り等でご迷惑をおかけしてまいります。

したがって、片側交互通行などの交通規制を極力行わない工法を現在検討しています。ご迷惑を最小限にするよう努力してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

調査結果の報告を

さまざまな大事業、開発などを進めるに当たり、コンサルタンต์を通じて分析からアドバイスを受け、具体的に

進められると思うが、担当課として町民からの聞き取り調査や現地確認による側溝状況等の調査報告をしていただきたい。

（藤掛建設課長）

八百津市街地において、豪雨の時の排水路の系統や能力の調査行いました。その結果、

排水路や側溝の大きさが不足している箇所が多く見つかリ、その後、現地確認や聞き取り調査も行い、排水路の状況も確認をしています。排水路の大きさが不足している箇所は大変多くあり、これらの箇所を直してもまたすぐ下流で水があふれるという状態になります。

八百津排水路のような太い幹線の排水路を設置し、大仙寺山に降る雨を速やかに排水することが最も良い方法であり、浸水被害を防止する根本的な解決策であると考えています。

どのように排水路をつなぐのか

推進工法的な、地下に掘って大きなパイプを通すというような大変な工事と聞いたが、それが完了した後に、どういう形で細かい枝につながっていくのか伺いたい。

（藤掛建設課長）

既設の排水路や側溝については、排水路の深さや位置、技術的な問題などにより異なりますが、できる限り既設の排水路を接続したいと考えています。特に既設の排水路の上流部分で、八百津排水路幹線の排水路に接続しますと、浸水被害を防止する効果が大きいと考えています。